



宮本 亜希 さん

6年 (湯町区)

私は6年生になって思ったことがあります。それは「最上級生として進んで行動する」です。実行は大変だけど楽しいこともあります。今年から始まった「ボランティアタイム」は、学校をきれいにするために、日頃気がつかない場所をさがして、自分達で計画しています。私の計画した活動をしている時、みんなが「おもしろいね」と言ってくれたことがとても心に残りました。

6月21日には、マリーゴール



苗を新しいラグビー場にたてわり班で植えました。土がすぐ固くて苦労しましたが、植え終わると「ヤッター」という気分になりました。地域の方が後で一本一本にいい土をかけてくださったことを聞いてうれしかったです。花が咲くのをみんな楽しみにしています。



今も現役で漁をされていると聞いてやってきました。「最近足が痛くてイカ釣りにも行けなくなった。でも今年は漁がさっぱりで、こんな年は珍しい。何が原因かようわからん。人のいない所へ行かんと釣れん」と言う。「木造船は30年以上経っており、船がダメになるか私の方が行けなくなるかいい勝負ですよ。私年輩で漁に出る者はいなくなりました。後1年頑張りたいですね」と笑顔がこぼれる。そばから「じいちゃんは、結構漁が小遣い儲けにになっていますよ。私のパートよりええかもしれんね」と嫁さんが笑う。「こまめなじいちゃんだから助かってます。私が二カ月入院したときも炊事は全部やってくれました。だから家のことは全然心配しませんでした」と

ふるさとながと ④

こんにちは

“我がふるさと長門”



鷹木 基雄 さん

美代子 さん
(茨城県北相馬郡)

基雄さん

昭和15年俵山で生まれる。
全国農業協同組合連合会から出向し、現在(株)全国食肉学校長。

美代子さん

昭和23年東深川で生まれる。

高校 (大津高校昭和35年卒) 卒業以来だから、長門市を離れてかれこれもう40年。サラリーマン生活も残すところあとわずかになった今、茨城に居をかまえて5年。
女房 (旧姓吉松) も同窓 (昭和42年卒) で一度の見合いで意気投合して30年?。
東は東京から西は九州博多まで、9回の転勤と転居を共にし、息子2人も今では社会人。一杯入ると今でも息子達と行った俵山の川魚つり、只の浜での磯遊びに話はずみ。



初めとする長門の特産品の大ファンとなってきた。
我が心のふるさと長門の思いは味覚とともに、息子達にも確実に受け継がれています。